

2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2024年2月8日

東

上場会社名 武蔵野興業株式会社

上場取引所

コード番号 9635

URL https://www.musashino-k.co.jp

代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河野 義勝

問合せ先責任者(役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 中野 公一 (TEL) 03-3352-1439

四半期報告書提出予定日 2024年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	935	△1.5	6	240.3	3	—	△3	—
2023年3月期第3四半期	949	△2.1	1	△96.5	△19	—	△29	—

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 △3百万円(—%) 2023年3月期第3四半期 △29百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	△3.26	—
2023年3月期第3四半期	△28.61	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	5,931	3,573	60.2
2023年3月期	5,954	3,576	60.1

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 3,573百万円 2023年3月期 3,576百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	1,300	△5.8	70	35.2	50	95.3	30	△26.1
								28.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 社(社名) 、除外 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	1,050,000株	2023年3月期	1,050,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	3,624株	2023年3月期	3,619株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期3Q	1,046,377株	2023年3月期3Q	1,046,387株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の基準に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあつたての注意事項については、添付資料のP3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9
(収益認識関係)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、緩やかな景気回復の動きが見られるものの、中東情勢・ウクライナ問題など世界情勢が不安定な中、物価上昇の影響などが個人消費の重しとなり、先行き不透明な状況が続きました。

このような状況のもと、当社グループは基幹事業である映画事業に重点を置きつつ、各事業において業績の向上に努めてまいりました。その結果、全体として売上高は9億3千5百万円（前年同期比1.5%減）、営業利益は6百万円（前年同期比240.3%増）、経常利益は3百万円（前年同期は1千9百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失は3百万円（前年同期は2千9百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

なお、前連結会計年度より、連結子会社の株式会社寄居武蔵野自動車教習所の決算日を1月31日から3月31日に変更したことに伴い、2022年2月1日から2022年10月31日までの9か月間を連結した数値と、2023年4月1日から12月31日までの9か月間を連結した数値を用いて、前年同期比の数値を算出しています。そのため、自動車教習事業部門の前年同期比の数値比較は当該教習事業における季節要因の影響を受けたものとなっております。

当第3四半期連結累計期間のセグメントごとの業績の状況は以下の通りであります。

(映画事業部門)

映画興行事業におきましては、「武蔵野館」では、『ファースト・カウ』『悪い子バビー』、また「シネマカリテ」では、『まなみ100%』『VORTEX ヴォルテックス』などを上映しました。「武蔵野館」は11月公開『アメリカ デジタルリマスター版』、「シネマカリテ」は12月公開『枯れ葉』の動員が好調に推移しましたが、全体の集客数は伸び悩み、当第3四半期連結累計期間の売上高は予想を下回る結果となりました。

映画配給関連事業におきましては、当社連結子会社の配給作品『認知症と生きる希望の処方箋』（邦画）は自治体など上映会のニーズも多く、各地で上映されたほか、2020年公開の『淪落の人』（香港映画）は引き続き上映会の作品に選ばれました。また、12月には香港のサスペンス・ホラー映画『香港怪奇物語 歪んだ三つの空間』を配給しました。

その結果、部門全体の売上高は2億9千3百万円（前年同期比1.9%減）、セグメント損失は4千1百万円（前年同期は4千8百万円のセグメント損失）となりました。

(不動産事業部門)

不動産賃貸部門におきましては、新型コロナウイルス感染症の5類移行後、各テナントの利用客も増加傾向となる中、テナント収入も回復の動きが見られました。主要テナントビルの設備更新等、維持管理費用の継続的な発生はあるものの、不動産賃貸部門全体としては堅調に推移しました。不動産販売部門におきましては、景気の動向に注意を払いながら売買及び仲介取引の拡大に努めました。その結果、部門全体の売上高は4億3千万円（前年同期比3.8%増）、セグメント利益は2億4千5百万円（前年同期比2.3%増）となりました。

(自動車教習事業部門)

自動車教習事業部門におきましては、大型自動車免許・中型自動車免許取得希望の新規教習や高齢者講習受講は堅調に推移しました。一方、主軸となる普通自動車免許の教習では、卒業シーズンを控えた高校生・大学生をメインに営業活動を行ったものの、期間中の新規教習生の獲得は前年を若干下回る結果となりました。その結果、部門全体の売上高は2億円（前年同期比11.1%減）、セグメント利益は8百万円（前年同期比74.4%減）となりました。なお、前年同期との比較数値は、前連結会計年度より、当事業部門の主体である株式会社寄居武蔵野自動車教習所の決算日を毎年1月31日から毎年3月31日に変更したことに伴う季節要因の影響を受けたものとなっております。

(商事事業部門)

当該事業部門の主軸である東京都目黒区において経営委託している飲食店につきましては、新型コロナウイルス感染症の行動制限の撤廃により、インバウンド需要や国内旅行者等、街を訪れる人が増え、営業成績はコロナ以前の水準より増加しました。その結果、部門全体の売上高は5百万円（前年同期比7.3%増）、セグメント利益は5百万円（前年同期比7.3%増）となりました。

(その他)

主として自販機手数料であります。部門全体の売上高は4百万円（前年同期比12.3%増）、セグメント利益は4百万円（前年同期比16.1%増）となりました。

※ スポーツ・レジャー事業部門は営業中止中であります。

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態の分析

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、未払債務及び有利子負債の返済等による現金及び預金の減少があったことなどから、前連結会計年度末に比べ2千2百万円減の59億3千1百万円となりました。

(負債)

負債合計は、未払債務の減少があったことなどから、前連結会計年度末に比べ1千9百万円減の23億5千8百万円となりました。

(純資産)

親会社株主に帰属する四半期純損失の計上により利益剰余金が減少したことなどから、前連結会計年度末に比べ3百万円減の35億7千3百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の通期連結業績予想につきましては、現時点においては、2023年5月11日発表の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	743,268	722,331
売掛金	43,972	42,139
棚卸資産	3,076	4,475
その他	52,123	81,016
流動資産合計	842,441	849,962
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	473,587	453,756
機械装置及び運搬具（純額）	16,054	11,310
工具、器具及び備品（純額）	20,979	20,135
土地	3,904,167	3,904,167
リース資産（純額）	5,521	4,230
有形固定資産合計	4,420,311	4,393,600
無形固定資産		
借地権	67,260	67,260
その他	8,934	10,004
無形固定資産合計	76,194	77,264
投資その他の資産		
投資有価証券	434,753	432,176
繰延税金資産	55,095	52,357
敷金及び保証金	88,646	88,646
その他	40,999	41,642
貸倒引当金	△3,933	△4,113
投資その他の資産合計	615,561	610,708
固定資産合計	5,112,067	5,081,573
資産合計	5,954,508	5,931,536

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	61,887	39,645
短期借入金	57,660	53,322
リース債務	2,841	1,080
未払法人税等	16,191	3,092
賞与引当金	16,378	7,280
その他	165,958	174,697
流動負債合計	320,917	279,118
固定負債		
長期借入金	282,976	298,457
リース債務	3,960	3,150
退職給付に係る負債	56,559	59,241
役員退職慰労引当金	8,906	8,906
長期預り敷金	613,839	618,345
再評価に係る繰延税金負債	1,082,196	1,082,196
その他	8,711	8,770
固定負債合計	2,057,149	2,079,067
負債合計	2,378,066	2,358,186
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,004,500	1,004,500
利益剰余金	126,347	122,937
自己株式	△8,711	△8,721
株主資本合計	1,122,135	1,118,715
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,222	2,549
土地再評価差額金	2,452,083	2,452,083
その他の包括利益累計額合計	2,454,305	2,454,633
純資産合計	3,576,441	3,573,349
負債純資産合計	5,954,508	5,931,536

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)
売上高	949,144	935,171
売上原価	474,219	470,078
売上総利益	474,924	465,092
販売費及び一般管理費	473,153	459,066
営業利益	1,771	6,026
営業外収益		
受取利息及び配当金	817	1,228
その他	2,707	1,222
営業外収益合計	3,524	2,450
営業外費用		
支払利息	1,458	1,492
持分法による投資損失	23,375	3,008
その他	134	600
営業外費用合計	24,969	5,100
経常利益又は経常損失(△)	△19,674	3,375
特別利益		
新型コロナウイルス感染症による雇用調整助成金等	6,022	-
特別利益合計	6,022	-
特別損失		
環境対策費	2,555	1,799
特別損失合計	2,555	1,799
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△16,208	1,576
法人税、住民税及び事業税	14,558	2,364
法人税等調整額	△829	2,621
法人税等合計	13,728	4,986
四半期純損失(△)	△29,936	△3,410
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△29,936	△3,410

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純損失(△)	△29,936	△3,410
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	325	327
その他の包括利益合計	325	327
四半期包括利益	△29,611	△3,082
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△29,611	△3,082

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他	合計
	映画事業	不動産事業	自動車教習事業	商事業	計		
売上高							
顧客との契約から生じる収益	299,169	28,616	225,413	5,347	558,546	4,133	562,680
その他の収益	—	386,463	—	—	386,463	—	386,463
外部顧客への売上高	299,169	415,079	225,413	5,347	945,010	4,133	949,144
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	2,700	—	—	2,700	—	2,700
計	299,169	417,779	225,413	5,347	947,710	4,133	951,844
セグメント利益又は損失(△)	△48,745	240,202	33,992	5,347	230,796	3,846	234,642

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、著作権事業その他であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	230,796
「その他」の区分の利益	3,846
セグメント間取引消去	19,113
全社費用(注)	△251,985
四半期連結損益計算書の営業利益	1,771

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。4. 報告セグメントごとの資産に関する情報
該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他	合計
	映画事業	不動産事業	自動車教習事業	商事事業	計		
売上高							
顧客との契約から生じる収益	293,462	32,216	200,400	5,739	531,818	4,642	536,461
その他の収益	—	398,709	—	—	398,709	—	398,709
外部顧客への売上高	293,462	430,926	200,400	5,739	930,528	4,642	935,171
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	2,700	—	—	2,700	—	2,700
計	293,462	433,626	200,400	5,739	933,228	4,642	937,871
セグメント利益又は損失(△)	△41,030	245,791	8,695	5,739	219,196	4,467	223,663

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、著作権事業その他であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	219,196
「その他」の区分の利益	4,467
セグメント間取引消去	10,164
全社費用(注)	△227,801
四半期連結損益計算書の営業利益	6,026

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. 報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。